

第22号

平成21年4月10日 発行

万葉園だより

編集・発行 社会福祉法人 南相馬福祉会

特別養護老人ホーム 万葉園

〒979-2334 福島県南相馬市鹿島区西町三丁目3番地
TEL(0244)67-1551 FAX(0244)67-1552
TEL(0244)67-1554(たんぼぼ直通)
E-mail manyouen@orion.ocn.ne.jp
URL <http://minamisoma.ask-daiko.co.jp/>

〔事業内容〕
特別養護老人ホーム 万葉園……………定員50人
グループホーム たんぼぼ……………定員9人



生き生きと…

統括 山田 裕子

のどかな春の日差し、草木は芽ぐみ花も咲き、心が浮き立つ季節となりました。ご利用者、ご家族、地域の皆様には日頃より多大なるご協力を頂き、職員一同心より感謝申し上げます。

最近では以前にも増して「介護士の重労働、低賃金、人材不足」などが報道され、そのような内容だけがクローズアップされるためか、この失業率の高い中でも人材確保は難しいようです。確かに報道内容は事実でもありますが、そればかりではありません。利用者の皆さんからの感謝や労いの言葉、日常の中での知恵や経験上のアドバイスを頂いたり、また家族の大切さ、そして何よりも人として人に対しての「優しい、温かい、慈しむ心の大切さ」を教えて頂いており、私達は目には見えない大切なものを得て大変やりがいのある仕事をしていると自負しております。

万葉園、たんぼぼの職員は、そのような大切な心を教えて下さる利用者の皆さんと共に、今年度も明るく楽しい、なんと言っても「生き生き」とした生活を送っていきたいと思っておりますので、ご家族、地域の皆様どうぞご協力のほどよろしくお願い致します。



新年会



初春とはいえまだ厳しい寒さの続く1月11日(日)、新年会を行いました。

午前は餅つきを行いました。臼と杵を使う昔ながらの餅つきは、利用者の皆さんにとってもなじみ深いものです。杵がドスンと振り下ろされる度に会場から「よいしょ!」と大きな掛け声が上がりました。つきたての餅はすぐに丸められ、あんこ餅・きなこ餅・お雑煮となり、昼食に皆さんで頂きました。つきたての味はもちろんです、やはりご家族の方との食事は格別のように、皆さんの笑顔と「みんなで食べるとおいしい。」とお話が聞かれました。お腹も落ち着いた頃、正月の行事

福笑いを行いました。目隠しをし、顔のパーツを貼り付けていきますが、なかなか難しいようで「もっと右!」「そこでねえー」と声飛び、会場は笑いに包まれました。

福笑いの後は、氷川神社神楽保存会の皆様による神楽舞いが披露されました。迫力ある神楽の舞いに皆さん息を飲み、真剣に鑑賞されていたのが印象的でした。

万葉園での新年会は初めての試みではありましたが、日本の伝統行事の大切さを改めて考えさせられる機会となり、何より利用者の皆さんの笑顔がそれを教えて下さったと思います。今後もこのような機会を大事にしていきたいと感じました。

民俗芸能発表会



2月1日(日)、民俗芸能発表会鑑賞のため、原町区のゆめはっとに出かけてきました。

利用者の皆さんは、伝統の神楽にはやや緊張した表情で、また子供手踊は笑いながらも、子供達のがんばりに感動している様子でした。

鑑賞後はゆめはっと内のカフェでケーキセットを味わい、皆さん「良かったな。」と笑顔で万葉園に戻られました。今後も地域で開催される催しにはどんどん参加していきたいと思ひます。



施設長
コラム

一日一歩 (4)
施設長 大内 敏文



「慰問」という言葉に、皆さんはどのようなイメージをお持ちでしょうか。

広辞苑を調べてみると「慰めるために訪問すること」と記載されています。

施設には、年間沢山のボランティアの方々に来園いただき、歌や踊りで交流する機会が多くあります。

当施設でも先月のひな祭り行事に、近隣のかしま保育園の2歳児の皆さんが来園され歌やお遊戯を披露していただきました。手作りのプレゼントや一人ひとりからの握手に、利用者の皆さんは感激のあまり涙涙のお別れとなりました。また、年間延べ900人を超える方々がボランティアとして来園され、交流をいただいております。

残念に思うことは、このような交流が新聞や広報誌等に掲載される際、「〇〇へ慰問」という見出しが多いことです。

たしかに福祉施設をご利用されている方々は、心身になにかしらの障がいがあり一部に支援を必要としますが、かわいそうだから慰めてあげましょうというような「慰問」の表現に違和感があります。「〇〇が施設を訪問」「利用者と一緒に交流」などの見出しが自然ではないのかと思っています。

厨房より

愛と栄養を込めて

万葉園では、ひな祭りの昼食は今年も重箱に詰めてお出ししました。

『女の子の節句』という通り、色華やかな食事に女性利用者の皆さんから特に褒めめ言葉の言葉を頂きました。

ひな祭りといえばひしもちですが、ひしもちの三色は雪の大地（白）・木々の芽吹き（緑）・生命（桃）を表しており、この三色を食すことで自然のエネルギーを授かり、健やかに成長できるという意味が含まれているそうです。

万葉園ではちらし寿司、菜の花のおかか和え、いちご、生のお吸い物などで春の三色を表現してみました。



あけましておめでとうござい
ます、と挨拶をしたのはつい先
日のように思うのですが、年齢
を重ねる程に時間の流れは早く
なり、もう桜の花が咲く季節と
なりました。
さて、その先日のお話ですが、
1月20日（火）に、地域の季節
行事であります「だんごさし」
を行いました。豊作祈願や一家
繁栄、無病息災を願って行われ
たというこの行事ですが、皆さん
も行いましたでしょうか。当

クループホーム
たんぽぽです



日は地域のボランティアの方々
6名に参加していただき、また、
万葉園のご利用者6名も一緒に
行いました。子どもの頃を思い
出しながら作業されたのが楽し
そうに行われ、その様子は新聞
にも掲載していただきました。
今年も良い一年になりますように。

こおり健太さんデビュー!!

万葉園ご利用者のお孫さんの演歌歌手こおり健太さんが、『口紅哀歌』でメジャーデビューされました。こおりさんには、平成 19 年度の納涼祭でも歌声を披露していただきました。今回の『口紅哀歌』は、別れの女心を歌ったせつなく心に残る曲です。



東北を代表する歌手になりたい、というのが今後の抱負だそうです。地元からも応援し、盛り上げていきましょう!



▲平成 19 年度納涼祭の様子

医務室コーナー

擦り傷や切り傷ができてしまったとき、傷口を乾燥させてかさぶたを作ると早く治ると思っていませんか?

最近の皮膚や傷の治り方の研究により、傷は「湿らせて治す」が中心になっています。傷から出る体液(滲出液)には細胞の成長や再生を促す成分が含まれており、これが傷を治す重要な役割をしています。この成分の働きを助けるためにハイドロコロイド素材があります。ハイドロコロイド素材は傷の体液(滲出液)を吸収・保持して「傷を治す成分」の活動に適した環境を整えることで、傷を早く治します。これまでは病院向けの医療材料でしたが、現在は市販品もあります。私が使ってみたところ、ホントに早く治りました。ですが、赤く腫れたり膿が出ている傷(細菌感染している傷)、虫さされや深い切り傷には使用できませんので、注意してください。

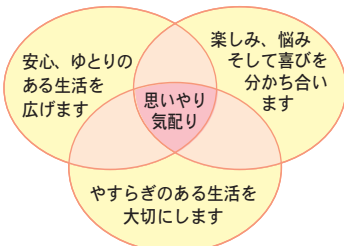
(主任看護職員：遠藤)

社会福祉法人南相馬福祉会

基本理念

『安心・信頼・やすらぎ』

特別養護老人ホーム万葉園 運営方針



- 新年会
 - 氷川神社神楽保存会様
 - 小正月飾りつけ
 - 新町、西町老人クラブ様
 - おどり披露
 - 高平手踊りサークル様
 - ひなまつり
 - かしま保育園様
 - アニマルセラピー
 - 寺島 美穂様
 - 今野 亜紀様
 - 根本 直子様
 - 佐藤恵美子様
 - 随時
 - 万葉園ボランティア様 (洗濯たため、クラブ活動、演奏など)
- 平成 21 年 1 月 6 日 ~ 平成 21 年 3 月 2 日
毎回多大なご支援 ありがとうございます。

ボランティア紹介

マナーの事務

万葉園・たんぼぼの 4 月 ~ 6 月の休日支払対応日をお知らせします。

- 4 月 18 日(土)、19 日(日)
- 5 月 16 日(土)、17 日(日)
- 6 月 20 日(土)、21 日(日)

平日では施設利用料のお支払いに來られない、という方は右記の日程でこ來園ください。

午前 8 時 30 分から午後 5 時 30 分までの間、事務で対応いたします。また、ご利用者の通帳への入金依頼も、併せて受付いたします。

日程は変更となる場合もありますので詳しくはお問い合わせください。

寄贈



- 平成 20 年 12 月 5 日 ~ 平成 21 年 2 月 28 日
- 小野田マツ様 白葉、大根
 - 横山輝彦様 りんご
 - 中野初子様 みかん、タオル
 - ホシトモ看板様 正月用ポスター
 - 折笠正寛様 みかん
 - 山崎幸子様 トイレレットペーパー
 - 渡邊健芳様 菓子
 - 桑折正一様 りんご
 - 引地孝雄様 音楽 CD
 - 桑折栄喜様 タオル
 - 大土サイ子様 箱ティッシュ
 - 今野富子様 白葉